三鷹市立第　中学校　令和8年度【社会】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	【地理的分野】 ○表やグラフを読み取る取り組みを行っている。 ○「三鷹市小・中一貫カリキュラム」を十分に活用していく必要がある。 【歴史的分野】 ○既習内容や地理的分野の学習を関連させた学習ができていない。 ○資料から情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの活動を十分に取り入れられなかった。	【地理的分野】 ○基礎・基本の確実な定着。 ○多様な資料を活用し、物事を多面的・多角的に考えるようにする工夫。 【歴史的分野】 ○歴史的事象への興味・関心を醸成するための工夫。 ○時代ごとの特徴を把握し、知識をもとに自分なりに考えをまとめる取り組み。	【地理的分野】 ○地図帳や白地図などの教材を活用し、より感覚的に地理的事象をとらえられるようにする。 ○地図やグラフ、統計など、複数の資料を活用して答えを導く機会を増やすことで、様々な視点から物事を考える姿勢を養う。 ○「三鷹市小・中一貫カリキュラム」を活用し、小学校での既習事項と関連付けるなどの系統的な指導を行うことができるように工夫する。 【歴史的分野】 ○歴史上の出来事と現在とのつながりを示す、ICTを活用して視覚的に示すなどの工夫をして、興味・関心を高める。 ○単元ごとにテーマを定め、時代ごとの理解を深める。 ○「三鷹市小・中一貫カリキュラム」を活用し、小学校での既習事項と関連付けるなどの系統的な指導を行うことができるように工夫する。
第2学年	【地理的分野】 ○地図やグラフ、統計など、複数の資料を活用して答えを導く能力の習得が不十分である。 【歴史的分野】 ○十分にテーマを定めて学習に取り組めず、時代ごとの理解を深めることができなかった。 【分野共通】 ○「三鷹市小・中一貫カリキュラム」を活用し、小学校での既習事項と関連付けて指導を行うことを意識した。	【地理的分野】 ○基礎・基本となる知識の習得や、地図やグラフ、統計などの資料を読み取って多面的・多角的に考察する能力の習得。 【歴史的分野】 ○基礎・基本となる知識の習得や、時代ごとの特徴を捉えたり歴史的な事象の前後関係を認識したりする能力の習得。 【分野共通】 ○学習した内容を振り返り、自ら再構築したり学習方法の改善策を立てたりする能力の習得。	【地理的分野】 ○地図やグラフ、統計などの資料を活用して多面的・多角的に考察し表現する能力の習得が不十分であるため、資料をもとに自ら考えて表現する機会を増やす。 【歴史的分野】 ○時代ごとの特徴や、歴史的な事象の前後関係があいまいな生徒が多いので、より意識できるような授業改善を工夫する。 【分野共通】 ○基礎・基本の定着を図るために、試験や評価物のレポートとは別に授業ごとに用語などの復習を行う。 ○資料を読み取って思考・判断・表現することに対する苦手意識を感じている生徒がいるので、資料を読み取って多面的・多角的な角度から考えて表現する場を増やす。 ○「三鷹市小・中一貫カリキュラム」を活用し、既習事項と関連付けるなどの系統的な指導を行うことができるように工夫する。
第3学年	【歴史的分野】 ○資料の読み取りなどの場面では、話し合い活動を行い、理解を深めることができた。 ○ＩＣＴ機器の活用により、資料提示や資料読み取りのポイントを共有することがスムーズになった。 【公民的分野】 ○ICT機器や資料集等を有効活用してビジュアル的な補完はできた。	【歴史的分野】 ○諸資料から必要な情報を取捨選択し、まとめる技能の習得。 ○個人作業・話し合い活動を問わず、歴史的事象や因果関係について思考・判断・表現する力の育成。 【公民的分野】 ○実際に起こっていることと授業内容を関連付けながら取り組むことができる力の育成。	【歴史的分野】 ○資料の読み取りの視点を増やすために、個人作業だけでなく積極的に話し合い活動や記述を取り入れる。 ○多面的・多角的に考える習慣をつけられるようにするために、既習内容や地理的分野・公民的分野と関連付けながら指導を行う。 ◎話し合い活動のような集団思考の前に、個人思考の時間を確保し、そのうえで他者との交流の中で視点を増やすなど、授業展開を生徒の実態に合わせて柔軟に検討する。 【公民的分野】 ○実生活での活用をイメージしながら考えることができるように作業などの時間も確保する。 【歴公共通】 ◎ノートやワークシートの活用方法を工夫させることで、自分の理解度や習熟度に合わせて学習方法を調整する力を身に付けられるようにする。 ◎家庭学習を行う習慣を身に付けさせるために、宿題や小テスト等を活用する。 ○「三鷹市小・中一貫カリキュラム」を活用し、既習事項と関連付けるなどの系統的な指導を行うことができるように工夫する。